

## 石灰石のR6年度需給見込み及びR7年度需給見通し

### ■ 事業環境

- 令和6年度、国内の建設関連の需要は、建設資材価格の上昇や現場技術者の不足などに加えて、建設および物流の2024年問題の影響から、工事計画や設計見直し等による建設工事の遅延が常態化し、生コン需要及びセメント国内販売は低調に推移した。  
鉄鋼関連は、国内の建設工事の停滞に加えて、中国の景気低迷の長期化と粗鋼の過剰生産の余波で、中国の鋼材輸出が増加してアジアの市況が悪化し、日本では鋼材輸入増加と市況低迷から、粗鋼生産は低調に推移した。
- 令和7年度は、建設関連の事業環境は令和6年度の基調が継続すると想定されるが、生コン業界の週休2日制への移行の影響から生コンの生産・出荷（およびセメントの国内需要）は前年度から下振れするものと思われる。鉄鋼に関しては引き続き中国の低調な経済情勢と鉄鋼の過剰生産の影響が継続すると想定される。
- また、新たなリスクとして、米国トランプ政権による関税政策が、米国国内および世界各国の経済活動の下振れ要因となることが懸念される。

### ■ 石灰石事業

- 令和6年度の石灰石の生産・出荷は、建設関連が昨年度より低調に推移しており、骨材向けが特に低調であった。鉄鋼関連も国内需要、輸出が低調で、鉄鋼向けは昨年度を下回った。
- 令和7年度は建設関連の需要が下振れすると想定され、中国経済低迷の影響も継続すると想定されることから、石灰石の生産・出荷は建設関連、鉄鋼関連ともに令和6年度実績を若干下回って推移すると想定する。（但し、米国の関税政策が世界に及ぼすインパクトについては不明であり、その影響は折り込んでいない。）

### ■ 需要家業界の動向

			R5年度	R6年度見込み		R7年度見通し		対前年増減	
			A	B	前年比(%)	C	前年比(%)	B-A	C-B
<b>建設関連</b>									
セメント	国内販売	(百万ト)	34.6	32.7	▲ 5.4	32.0	▲ 2.1	▲ 1.9	▲ 0.7
	輸出	(百万ト)	6.9	8.4	22.6	9.0	7.1	1.5	0.6
	生産	(百万ト)	47.2	46.8	▲ 0.8	46.7	▲ 0.2	▲ 0.4	▲ 0.1
生コン	出荷	(百万m <sup>3</sup> )	70.2	66.4	▲ 6.0	63.5	▲ 3.8	▲ 3.8	▲ 2.9
<b>鉄鋼関連</b>									
粗鋼	生産	(百万ト)	86.8	83.1	▲ 4.3	82.3	▲ 1.0	▲ 3.7	▲ 0.8
石灰	生産	(百万ト)	7.2	7.0	▲ 3.2	6.9	▲ 1.0	▲ 0.2	▲ 0.1

### ■ 石灰石の生産量・出荷量

			R5年度	R6年度見込み		R7年度見通し		対前年増減	
			A	B	前年比(%)	C	前年比(%)	B-A	C-B
<b>建設関連</b>									
セメント用		(百万ト)	48.9	48.6	▲ 0.8	48.5	▲ 0.2	▲ 0.3	▲ 0.1
骨材用		(百万ト)	27.8	26.1	▲ 6.0	25.1	▲ 3.8	▲ 1.7	▲ 1.0
(小計)		(百万ト)	76.7	74.7	▲ 2.6	73.6	▲ 1.5	▲ 2.0	▲ 1.1
<b>鉄鋼関連</b>									
鉄鋼用		(百万ト)	17.0	16.3	▲ 4.3	16.1	▲ 1.0	▲ 0.8	▲ 0.2
石灰用		(百万ト)	8.3	8.0	▲ 3.2	8.0	▲ 1.0	▲ 0.3	▲ 0.1
(小計)		(百万ト)	25.3	24.3	▲ 4.0	24.0	▲ 1.0	▲ 1.0	▲ 0.2
その他		(百万ト)	10.5	10.3	▲ 1.4	10.3	0.0	▲ 0.2	0.0
輸出		(百万ト)	5.8	6.6	14.7	6.6	0.0	0.8	0.0
出荷量		(百万ト)	118.2	115.9	▲ 2.0	114.6	▲ 1.2	▲ 2.3	▲ 1.4
生産量		(百万ト)	119.0	116.6	▲ 2.0	115.2	▲ 1.2	▲ 2.4	▲ 1.4

単位：千ト

石灰石生産量の推移

